

事業計画書兼補助金交付申請理由書

事業名	旧山陽道歴史探訪事業
※補助金交付の対象となるのは次の事業です。当てはまるものにチェックをしてください。 <input type="checkbox"/> 地域課題の解決に取り組む事業 <input type="checkbox"/> 地域活性化に取り組む事業 <input checked="" type="checkbox"/> 地域の魅力創出、魅力発信に取り組む事業 <input type="checkbox"/> 教育、福祉、環境、安心・安全の向上に取り組む事業	
実施期間	2024年7月1日 ～ 2025年2月28日
目的	福山市内には、多くの史跡がありますが、年齢層に応じた旧山陽道に着目した探訪マップは、作成されていません。特に旧山陽道は、近世の重要な交通路であり、旧山陽道沿いに存在している史跡マップを作成し、市民に活用してもらうことで、市民の郷土の歴史に対するまなびを深め、郷土への愛着と誇りを高めることを目的とします。
対象	(延べ180 人)
内容(特徴)	○勉強会の開催(年2回) 講師を招き、旧山陽道沿いの史跡について学習します ○マップの作成 月2回(月に1回は講師を招きアドバイスを受ける) ○マップを活用したフィールドワークの開催
実施方法	※予定する協働・協力団体があれば記入してください。 勉強会の内容を踏まえて、ローズコムで探訪マップを作成します。作成された探訪マップを活用し、まちあるきフィールドワークを開催します。
スケジュール	7月・8月 勉強会の開催 9月～1月 月に2回 マップ作成 2月 フィールドワーク開催

■裏面あり

※記入しきれない場合には、別紙(任意)を添付してください。

翌年以降の計画 ※翌年以降に予定する事業内容を記入してください。		
2025年7月 フィールドワーク&公開講座 小・中学生を対象		
2025年8月 フィールドワーク&公開講座 高校生以上を対象		
期待する効果	事業参加者	本事業は参加者にどのような効果があると考えられますか。 郷土の歴史に対する知識を深める中で、郷土への関心・愛着を深めることができる。
	市民	あなたの団体が本事業を実施することで、広く市民にどのような効果があると考えられますか。 ・年齢層別に作成された2種類のわかりやすい探訪マップを活用し、史跡を訪問することで、郷土の歴史を知り、愛着を持ち、まちの魅力を再発見する。 ・私達の団体の強みである幅広い世代の市民感覚を活かし、工夫を凝らして作成した探訪マップにより、広く市民に対して市民活動への関心を高め、福山市のまちづくりを盛り上げることができる。
	実施団体	あなたの団体が、本事業を実施することで、団体自身にはどのような効果が得られますか。 探訪マップを作成することで、広く団体の活動をPRするとともに、フィールドワークを企画・運営することで、団体のスキルアップにつながる。

団体概要	団体の特徴（強み） 10代から70代までの幅広い世代の会員が活動しており、地域や学校などとの交流が活発に行われています。			
	団体が現在、抱えている課題 団体が設立して間もなく資金が少ないため、大規模なイベントなどが開催できない状況にあり、苦慮しています。			
要	被助成の履歴	被助成年度（期間）	助成機関	助成の内容
		なし		

補助金交付申請理由

今回の事業は、市民活動団体が実施する公益的な社会貢献活動であり、本事業を通じて団体活動を促進するものです。

つきましては、事業実施にあたり活動費の一部を負担していただく必要があり、福山市市民活動支援補助金始業期支援コースの交付を申請するものです。

※記入しきれない場合には、別紙（任意）を添付してください。